



のらねこ プロジェクトレポート 高大合同探求プログラム

R7

15 MAY, 2025

PROJECT

鹿児島玉龍高校SEAFLOWERSが種子島で学ぶ

2024年度、種子島に関わりのある奥田進一教授（拓殖大学）、永野由美子教諭（鹿児島玉龍高校）等と「島外の高校生を巻き込んだ活動の展開」を目指し開始した本プロジェクトでしたが、2024年夏に鹿児島玉龍高校有志によるSeaFlowersのメンバー11名が種子島に来島しました。種子島出身の大学生も帰省し、環境課題に関する意見交換や国際海岸クリーンアップに取り組みました。他にも高校生、大学生がそれぞれの探求課題を定め、フィールドワークや活動発表の機会を設けました。



PICKUP

鹿児島市内でイベント開催

2025年2月1日、かごしま環境未来館で「おしゃてマイクロプラスチック」を開催しました。鹿児島玉龍高校Sea Flowersとのコラボイベントで、ドキュメンタリー「マイクロプラスチックストーリー」の上映からスタートし、Sea Flowersとのらねこが活動報告を行いました。



Sea Flowersは「クリキンディプロジェクト」として、海岸清掃にマイクロプラスチック採取を組み込む方法を提案。調査を通じてその深刻さを認識し、ごみ拾いやプラスチック使用抑制による予防策の重要性を訴えました。のらねこメンバーは資料や活動の完成度の高さに驚き、イベント後のパネルディスカッションでは高校・大学・行政（かごしま環境未来館）の立場から意見が交わされました。

鹿児島玉龍高校2年 小園 杏那さん

環境問題への意識はもともと強くありませんでしたが、さまざまな人の関わりを通して、自分なりの考えを持つようになりました。この活動を通じて、普段出会わないようなメンバーとつながり、一緒に取り組めたことが何より楽しかったです。



鹿児島玉龍高校2年 今村 真緒さん

環境問題は難しいイメージを持っていましたが、身近にできることが多いと気づきました。周囲にも良い変化を促したいと思うようになり、進学先でも環境と専攻を結びつけた活動をしたいと思います。



SUMMARY

海の豊かさが学びの価値を可視化する



のらねこでは、島外の高校生を受け入れての活動は初めてでしたが、地域を超えた同世代の学びの重要性を実感する機会となりました。また、福井県立若狭高校や熊本県立芦北高校の学生とフィールドワークや意見交換を行い、さらに鹿児島県沖永良部島を視察し、ビーチクリーンを日常的に行うファミリー「うじじきれい団」の活動に参加しました。本活動を表現するなら、「海の豊かさが学びの場を可視化する」と言えるでしょう。所属や出身、世代の異なる人々との交流では、常に「海の豊かさ」を軸に対話を重ねてきました。学びの価値は目に見えづらいものですが、本活動を通じて少しでも環境に関心を持った学生が、海で活動し、その豊かさを実感できる日を目指し、今後も展開していきます。